



DX / GX (DX分野)

協和合金株式会社

神奈川県横浜市



情報収集BOX



製造現場の見える化



高島代表取締役社長

事業者名 協和合金株式会社

代表者 代表取締役社長 高島 眞吾

所在地 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町17-4

設立 1947年

従業員数 105名

URL <https://kyowagokin.co.jp/>

(2025年12月1日現在)

受賞分野 > DX分野

 取組内容 > **業界の需要を見据え、IoTを活用しスマート工場化。自社製のデータ収集機を開発するなど、DX化を継続的に推進。**

事業概要

1947年の創業以来、温間鍛造、切削、放電、研磨など多様な加工技術を駆使し、自動車部品などを一貫生産している。主力製品はマニュアル車用のシンクロナイザーリングで、国内外の大手自動車メーカーと継続的な取引があり、顧客ニーズに応える高品質・短納期を実現し、信頼を得ている。さらに、お客様の課題を解決する開発提案型ものづくり企業として評価されている。

取組内容

IoTを導入し、生産管理プロセスを革新。金属加工の現場において、積極的にデジタル技術を導入している。また、社員自らプログラミングを学び、自社製のIoTシステムを構築して大幅なコスト削減に成功するなど、DX化を継続的に推進。さらには、電子機器開発や3Dスキャナーの開発を手掛ける企業をM&Aすることで、DX化の取り組みの加速化も図っている。

IoTによる見える化

社員がプログラミングを学び、自社製のデータ収集機を開発・導入。設備の稼働状況や生産数をリアルタイムで把握することで、異常停止時間の削減や原価算出の精緻化に成功した。現場からの改善提案にも積極的に取り組み、更なるDX化を図っている。

M&AによるDX化の加速

市場の変化スピードと自社海外工場への展開も視野に入れて、更なる効率化を推進。電子機器開発や製造を手掛ける企業と3Dスキャナーの開発を手がける企業の2社をM&A。**新たに子会社化した企業と連携を図り、自社のデジタル化を更に加速させている。**

新領域への挑戦

自社の取り組みをきっかけに、蓄積された技術・ノウハウを活用し、同じ悩みを抱える中小製造業の課題解決をすべく、新規事業への開発にも着手している。自社工場をモデルとした更なる自動化の取り組みを推進するとともに、グループ間連携により開発したソリューションシステムの提供にも着手している。